

換気エネルギーを減らす

24 時間換気扇は省エネに配慮しよう

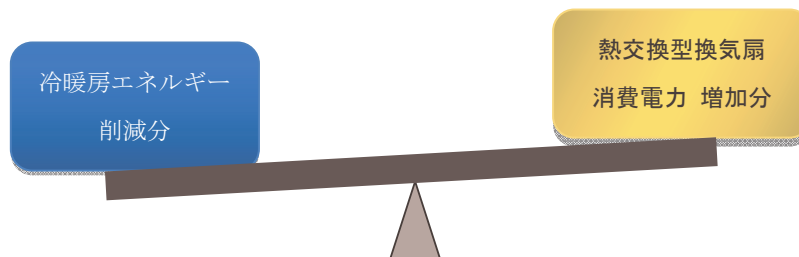
2003 年以降に新築した家では 24 時間換気扇がついていると思います。言うまでもなくこの換気扇はずっと動いているので、省エネに配慮するかしないかで大きく電力消費量が変わってきます。

もしこうした換気扇がついているなら、専門家にその省エネ性能を確認してもらい、もしその性能が低いならリフォームする機会に交換することを検討してみてください。一定規模の増改築でも 24 時間換気扇の設置が必要になる場合があります。

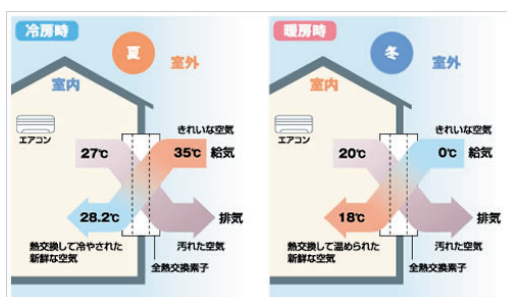
コラム：熱交換型換気扇が有効な地域

熱交換型換気扇は換気エネルギーを減らすのではなく、冷暖房エネルギーを減らす目的で使います。冬は室内の熱を外に逃がさず、夏は外の熱を室内に入れないように工夫されているからです。

この説明だけ聞くと「それはいいじゃないか」と思うでしょうが、熱交換型換気扇は普通の換気扇よりも電力消費量が多くなることに注意が必要です。つまり、冷暖房エネルギーの削減分と電力消費量の増加分を天秤にかけ、冷暖房エネルギーの削減のほうが多い場合に「有効」という判断になるわけです。



岡山県では冷房エネルギーよりも暖房エネルギーのほうが多くなる地域がほとんどなので、暖房エネルギーに注目して有効かどうかを判断すべきでしょう。そういう意味で、県北にお住まいの方がより有効でしょう。



熱交換型換気扇の機能